

修行中の駄天使がおじさんと援交しちゃう18禁同人CG集!

● 駄天使援交
待ったなし!

基本12枚
セリフ無し差分、サイズ差分込みの全192枚構成。

ひちごスリ

.....あ、あはは、いや、なんとというか、
少し、緊張しちゃいますね

どうですか、そりゃ、はいも。

そんなら、お金に困っているの？

もちろん、課金の為。天界からの仕送りが減りに減って、
全くもってゲームにお金、使えなくなっちゃったし。

ガヴちゃん、て呼んでもいいかい？
いやあ、しかしこんな可愛い娘が
おじさんに付き合ってくれるなんてねえ。

はあ。今、わたしは今日のはじめてあったおっさんと
三人つきりでお話中だ。
人間界でいう『援交』ってやつだ。

はい！ お金欲しいですっ！！

そう、ネットゲ三昧の日々を送る為には
お金が必要なんだ。
援交つてめっちゃ稼げるらしいし、
ここはいつちよ気合いれて……。

ふふ、いい返事だね。
おじさんも、嬉しくなっちゃうなあ。
ガヴちゃんみたいな子供っぽいカラダの娘、
すごく、好みなんだよね。

えへへ……なんでもないですわ。
そりゃあ、うん、よかったです、へい

わたし……はじめてだから、
その……お手柔らかに

気持ちわる！ 人間界のおっさんって、
みんなこんななの？
はあ、どんなイヤらしいことされるんだろ。
ちよつと後悔、してきたかも。

大丈夫大丈夫！ おじさんは慣れてるから、
せーくんが任せてもらってかまわないよ。
一緒に楽しもうね。

oooooooooooooooooooooooooooooooooooo

はあ、もう覚悟決めるかあ。
援交したなんて言ったらヴィーネ、怒るだろうなあ……

それじゃ、ゆっくり慣れてら「っお。
ほら、「っちぎて。
おじさんのをゆっくり触ってみて。

——こうして、わたしの援交でお金を稼ぐ日々が
幕を開けたのだった……。



あの、これ、何か楽しいんすか？

最高だよ。
君みたいな可愛い娘が、
おじさんのち○ぽを
嫌そうに触ってるのがイイ！

スリ
スリ

は、はぁ.....

確かにイヤだけどさ。それよりもかなしいわ

.....っつて、うわあっ
なんだコレ！っ

おっさんのア○コから
なんか白いモンが.....
うええ.....

ゴッ

ビクッ

!!!

それはおじさんのガマン汁だよ。
うっ.....それにしてはガワちゃん、気持ちいいよー
もっ.....はい、母の汁だからねー

あうっ……………んっ

あ、もうペトペトして気持ち悪い！
おっさんのア○コがわたしの大事なところを
擦り付けられるたび、思わず声が出てしまう。

。。。。

あ、ガウちゃん、気持ちいいよー！
「これが少しずつ、強く動いていくからね。」

んっ！ あんまし早く、動くまでの……。
はあ……………んっ

ゴニン





ちよ...
あっ!

強く腰を押しつけられ、
思わず高い声が出てしまっ
うう...おっさんの精液で、
大事なトコロが汚れちゃう...

んん？ 目上の女の子に
そんなクチをきく無ら娘は
そっつ、馬鹿ッ...

あーっ、
あーっ、
あーっ...

ピクッ

ズニ

ズニ
ズニ

ふふ、ガウちゃんそんな可愛い声あげちゃって
もしかしてちよと云持ちよがかったのかな？



どう考えても気持ち悪いだけだったの。
ニヤついたおっさんの顔にイライラする。

そ、そんなワケないでしょ……
こんなの、よくわかんないよ、
汚い……だけだって

え、ほんとかなあ……
おじさんは、はあ……「んを」
気持ちいいの「なあっ」

クチュ……

ズシュ



ア〇コとお腹に熱い感覚が広がる。
えっまたー？

うっうあっ……
やめっ！ そんなにかけないでよー！

そう言っても聞く耳を持ってくれず、
びゅくびゅくと汚い精液を出し終えるまで、
おっさんはわたしから離れようとしなかった。

びゅっ
びゅっ

ふう、ふう……ガヴちゃん、
今日はよかったよ。
また今度、いっぱい可愛がってあげる。

はぁ……お陰、いっぱいくれるな……うん

そう言いながらもわたしの顔にこすりつけ、
汚い汁が垂れる。うつつ……

……………なんか、「の前より、臭いんだけど。
おじさん、ちゃんと洗ってるの？」

とろよ…

今日はガヴちゃんに綺麗にしてもらおうと思ってるね。
ち○ぽだけは、洗うのがおとなりになっちゃってるんだよ。

うつつ！
なんだソレ、意味わかんないし……。

ほらっ、うっっっ……
少しだけ、出ちゃったよ。
ガブちゃんのほっぺ、柔らかいなあっ……………

ドロっとした精液が
ゆっくりとわたしの顔に垂れていく。
おっさんは満足そうだ。

びっ……!!

グズッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

よし、じゃ次は……ガブちゃん、脱「ツ」か……
それで、おじさんをお持ちしよう！

はい？ な、何させられるの、わたし……
ていうか、まだ出すんすか……

キーン



ええ.....
「なに、眠めるの？ わたしが？」

むわあ

裸にしていきなりそんなワケわからんこと
言ってくるとか、全くもって信じられない。
はあ、馬鹿みたいだな.....

うん...

そろそろ眠るの、さっさと寝てね。
早く早く.....

ん.....なに？



んっんっんっ
んっっ!! うえっ

うええ……なんだこの味、
くさいし、口の中に絡んで、うっ、
匂いが残る……

んっっ!!

おおっっ!! ガウちゃん、上手だねっ!!
おじさん、大満足!!
そっ!! もっと強く、しっっかり、舐め回して!!

はあ.....はあ.....
んせり.....ちゅ.....
おじさんっ、わたし「ん」の音を出してるとか、
お金、はすんでくたさるんだよねっ。

ハ
ビュッ

うん、もてるん！
この前の三倍.....ら、や、三倍くらゐは出すよ。
だから、いっぱいさらさら「ス」してよっ。あ、あ

へっ...
っ

三倍か.....結構な額じゃん。
やらされることはキモいけど、
このおっさん、金払いはいいんだよね.....。

ああっ！...おっさんさんっ！...
イヤッ、おっさんさんっ！...
イヤッ、おっさんさんっ！...
イヤッ、おっさんさんっ！...

うあっ！ー！ か、顔にそんなにかけないでよ！
もう、なんでそんな顔にばっか……。

ビュン

精液でべとべとだった頬に、
さらに濃い精液が塗りたくられる。
ううう、まだこんなに出るなんて……。

ズッ
ッ！！
ッ

まだまだこんなもんじゃないよ。
さて、カウちゃん、おまたせ。
お次は今日のメインディッシュだよ。

顔にかかった精液を拭く暇ももらえず、おっさんは
わたしを少し乱暴にベッドに横にさせた。

二回も射精したのに……
まだ収まりのつかないおっさんのおち○ちんが、
わたしの大事な場所にあてがわれる。

あ、ほんとに？
「まだしなくちやダメ？」

そりやお金払ってるんだから、
その分はしっかりと楽しませてくれないと。
それに、「うちののは早く経験しておいた方が、
お友達にも自慢できるよ？」 うん

ピクッ

ピント

あ、いやでもまだ心の準備が……
あ、あうっ！……

うぐっ……

ピン

言い終わる前におっさんがわたしの
中に入れてこようとする、
ああ、わたしの処女、こんなところで失うのか……。

ズズズズ

プッ
ッ
ッ

んっ……ガブちゃんのおま○、キツキツだね……。
中々入っていきな……。
少し強引に……。

はあ、はあ、ちよつと……
マジ、痛いんだけど……おでさんの、でかすぎ……

おっ、嬉しいこと言ってくれねえ〜！
それに比べて、ガウちゃんの中は
すっごく小さくて、狭いねえ。
これからいっぱい、広げてあげるから。

ぎゅっ
びゅっ

うっ……うっ……ちよ、激し……
……あのお、もう、動かすのはいんどだけ、
な、中には、絶対に出さないでよ……
妊娠しちゃうし、これはお金も……でもホント、無理だから……

マジ
ブ

わかってるわかってる！
ほらっ！んじや中に詰まない分。
その可愛いしいカラダで受けとって！ね！

ふう……でもちよつと残念だなあ。
「し」が「ず」ちゃんの中に詰せたら、
絶対おま○「も」も保持したいと思っただけだな

びゅっ

いっきに引き抜いたかと思うと、
濁った精液が遠慮なしにわたしを汚していく。
ア○コもお腹ももう、べとべとなんだけど。

ズズズズ

ん……冗談は、やめてよ……。
そんなの、やだ。

今日は水着を着てこんなことさせられている。
こんなの……わたしみたいなのがやって
おっさんは気持ちいいもんの？
……ラファイエルみたいなやつにさせればいいじゃん……。

あの、コレ……何？
こんなのが楽しいの？

○○○

ぬちゅ

はあ……はあ……、
え？ 楽しいとらうか、
すっごく幸せだよ。
ガウちゃんのちっちゃな
おっぱいが、一生懸命絞られて、
すっごく気持ちいいよ。

はあ、そ、そんなもんですか



くっ……
そんなワケないでしょ……。
こんなの汚いし、最悪だったわ……。

もう胸が精液でベッタリ汚れちゃってる。
あゝ……水着にもかかっちゃってるし。

ゴロオ…
ポ

はあ……ほんとカウちゃんの水着
可愛いしエツテだなあ。
ほら、今度はおじさんの上に来て、
今日は水着のまま、セツ○スだよ。

はあ、水着ってだけでなんでこんなに嬉しいそうなんだ。
まさかこんなことのために着るなんてなあ……。

あ、でもアレだな、前はめっちゃ痛かったけど、もうそんなじゃないっていうか……うん、少し、少しだけ、イイかも

も、もうちょっとと強めに動いても、いいよ。うん、もうちょっとだけ、ね。

あ〜。。。

ジュッ

又ッ

はあ、はあー
ガブちゃんかかると言うのを聞いて
嬉しいな。おじさん、興奮しすぎた
も、うん、はい、おじさん……

え、おじさんなの？
な、な、早く抜い……

あんっ!! んんんっ!

おっさんの腰が激しく揺れたかと思つくと、わたしのア○コに急激に熱い感覚が広がってくる。え……そんな、これって

あつっ……熱い……うさだ……。やっほりっね、中下っ

んん!!?

ビュ

どぴた

ピンッ

おっさん……熱い……うさだ……。やっほりっね、中下っ

おっさん……熱い……うさだ……。やっほりっね、中下っ

んぶっ!!
ちよっつと!!
ング!
あんまり、そんな、奥まで……!!

アッ
アッ

んっ!!
んっ!!
んっ!!

今日は会うなりいきなり裸にされたかと思うと、
汚いおち○ちんを無理矢理口にねじこまれた。
ん……味と、匂いが、すごく、気を失いそうだ……。

ガヴちゃん! ガヴちゃん!!
前にフェラしてもらったときは、
顔を汚しただけだったからね。
今日は、いっっぱい、飲ませてあげる……。

はあ………!? 飲むって、精液を………?
あんな汚くて、臭いのを、飲ませられるの?

ズグズグ

んっんっ……んん……
んぶうっ……
そ、そんなの……

激しく喉奥を突かれているので、
うまく言葉にならない。
さっきからおち○ちんがビクビクと
震えているのが口に伝わってくる。
うう……出されちゃうのか、このまま

うう……イクよ。ガヴちゃん、おじさんの精液、
いっぱい詰まっちゃうからねっ!

さあ〜て次はこっちの、可愛らしい穴かな。

えっ………？

もうすでに疲れ果てていた。
でもおっさんはわたしのお尻を見て、不穏なことを言い出す。

ピクッ

よし、んじや、挿れていくよ〜。
力抜いてね〜、そのまま、大丈夫だから。

キュン

いぎっ!!
あっっ!! ううっ!!

ま、まじか……!!
わたしのお尻にそんな無理矢理……。
入らないって……。そんなの! ムリ……。

っ!!

やいっ!! やいっ!! ムリ、無理だって……
痛い痛い!!

……ううっ!! ううっ!! ううっ!!
……ううっ!! ううっ!! ううっ!!

ビ
ク
ク
ク

ああ.....うぐ.....はあ、はあ.....
えう、うぐ.....

はーっ、はあ、よしよし、なんとか全部、入ったね。
それじゃ、動くよ。ガブちゃんのお尻も、いっぱい汚してあげるから。

あ...
ぐう

ぞくぞく

なにを勝手な.....。
もう、限界.....お尻、広がっちゃう.....。

びびる

ぐう

はうー!! はあうううー……!!
あうあう……あぐ

お腹の中を上がってくるような初めての感覚。
この中身がおっさんの精液なんだから、すくく、不快……。

わ!!

ガウちゃんのおま○こも、エケついてて、可愛いよ。
こっちもちゃんと、使っておけるから、安心して。

はあ……はあ、はひ……はひい

ドゴ
ビュ

ううう、また、
こんな無理矢理い……。

腰をひねって逃げ出そうとしたけど、
みうちりと挿入されてしまい、
わたしの腰は言っコトをきかない。

ダメダメ、そんな逃げようたって、
本心じゃないのは、わかってるんだから。



んっ……!!

は、はあ……
そんな、わたしはお金をもらえれば
こんな……「ん」なの

大体精液は飲ませられるわ
お尻も犯されるわ……
今日のお金をもらっても
やりたくないことはかりだつて……キツイ。

あれ、お尻はOJは種……
ヒクッ……お尻は……
お尻の精液欲し欲し……

ズポッ
ヌポッ



それっ……
いっ……く……を……る……ま……中……

あ……
へ……！ やあ……
は……は……

またわたしのカラダが精液で汚されてく……。
はあ、ダメだ、頭がぼ……としてきた。

ビュツ

ぐ……
ゆる……

ア……

あ……、あ……、あ……
また中……して……た……。
絶対……は……か……た……た……

はあ、はあ、
いや、そんな「はあ」……

そう言いつつもだらしのない顔になっているのが
自分でもわかる。やばい、わたしのカラダ、
どうなっちゃったの……？

はは……丸いお尻をみるみるよぼよぼと
イケナイ娘だよ、全く。

はあ…
はあ

フポ…

ぞく
ぞく

ドク
ドク

おっさんがわたしをこんなにしたんですよ。
……と思ったが、わたしは黙ってセックスの
余韻に浸ってしまっていた……。



おしまい